



2018年11月20日

株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

## 合金粉末専用工場の新設によるチタン粉末生産能力の増強について

### 1. 背景

当社はガスアトマイズ法により製造される低酸素チタン粉末（Titanium Low Oxygen Powder：商標登録 TILOP）を1994年から生産しており、これまで液晶パネルのスパッタリング用ターゲットやMIM（金属粉末射出成形）の材料としての販売と併せて、一部の顧客向けに積層造形（3Dプリンター）の材料としての販売実績を重ねてきました。

今後、革新的素材加工プロセスとして注目されている積層造形の本格的な普及によって、航空機および医療分野におけるチタン合金粉末（以下、合金粉末）の需要が急速に拡大すると期待されており、国内外の顧客から積層造形用途の高品質合金粉末の安定供給体制の整備が強く求められるようになってきました。

このような状況を踏まえ、現有のチタン粉末生産能力には限界があるため、今般、より需要増加が見込まれる合金粉末の専用工場の新設を決定し、積層造形を主体とする将来の需要拡大に備えることとしました。

### 2. 合金粉末専用工場の概要

- ・設備投資額 : 約10億円
- ・粉末生産能力 : 100トン/年
- ・稼動開始予定 : 2020年初め
- ・建設場所 : 当社本社尼崎工場内
- ・品質管理 : 航空機対応（AS9100取得予定）

### 3. 合金粉末事業の推進

合金粉末事業は、2018年度を初年度とする中期経営計画において将来の主力事業の一つと位置づけており、今般の合金粉末専用工場の新設決定に加えて、4月に設置した営業と技術が一体となった推進チーム（AMPM チーム※）が先頭に立ち、合金粉末の市場開拓と事業推進を加速していきます。

当社は世界有数のスポンジチタンメーカーであることから、高品質の自社製スポンジチタンを合金粉末の原料として使用できるという品質ならびに品質管理上の優位性があり、さらにチタン製造で培った各種技術の融合などにより高性能なチタン粉末とプロセスの開発に今後とも取り組むことによって、幅広い顧客の支持を獲得していきます。

なお、合金粉末専用工場の新設については、10月に米国ラスベガスで開催された ITA（International Titanium Association）の2018年年次総会で発表したことも併せてお知らせします。

本ニュースリリースならびに販売に関するお問合せ窓口：

営業部 AMPM チーム※ 03-5776-3103

※Additive Manufacturing and Powder Metallurgy（積層造形および粉末冶金）

以上